変額保険
グローバルミックス

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

月次運用レポート

2011年9月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

INVESTMENT MANAGERS

redefining / investment solutions

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
債券 50%		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	

※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険
特別勘定の月次運用レポート　（2011年9月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 ［ 2011年9月 ］

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落し、TOPIX（東証株価指数）は前月末比▲1．22％下落の761．17ポイントで終了しました。
上旬は、米国景気の減速懸念が強まったことや、欧州債務問題の深刻化などを受けて下落しました。その後も、円高による輸出企業の業績圧迫や不安定な推移が続く欧米株式市場を睨みながら軟調な展開となりました。下旬にかけては、欧州債務問題についてESFS（欧州金融安定化基金）への機能拡充への動きが見られたことから、当局の対応が進展するとの期待が広がり、上昇に転じて月末を迎えました。
業種別（東証33業種）では、円高による原材料費低下を期待して「水産・農林業」（前月末比＋6．73％）が最も上昇した一方、市況下落を受けて「非鉄金属」（同▲12．32％）が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、8月の米雇用統計が市場予想を下回ったことなどを受けて、下落して始まりました。その後、各国主要中央銀行の協調による欧州へのドル資金供給などを受けて一時反発したものの、FRB（米連邦準備制度理事会）が景気の下振れリスクを指摘したことから再び下落に転じ、NYダウは前月末比▲6．03％下落の10，913．38ドルで終了しました。
欧州株式市場も、欧州債務問題の深刻化を受けて下落しましたが、下旬にドイツ議会がESFSの機能拡充を承認したことなどから、やや値を戻して月末を迎えました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比▲4．93％下落、仏CAC40が同▲8．44％下落、独DAXは同▲4．89％下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いでの推移が続き、新発10年国債利回りは1．02％となりました（前月末は1．03％）。
株式市場が軟調に推移したことや、欧州債務問題、米国景気の減速懸念、日銀の追加的な金融緩和期待などから、上旬に金利は1％を割り込みました。その後、発表された経済指標が強弱交錯したことなどから方向感に欠ける展開が続き、概ね1．0％前後での推移が続きました。月末にかけては、株価が値を戻したことなどから、やや売り優勢の展開となりました。
日銀は、政策金利を据え置き、年0～0．1％程度を維持しました。
無担保コール（翌日物）は0．1％程度の水準で推移しました。

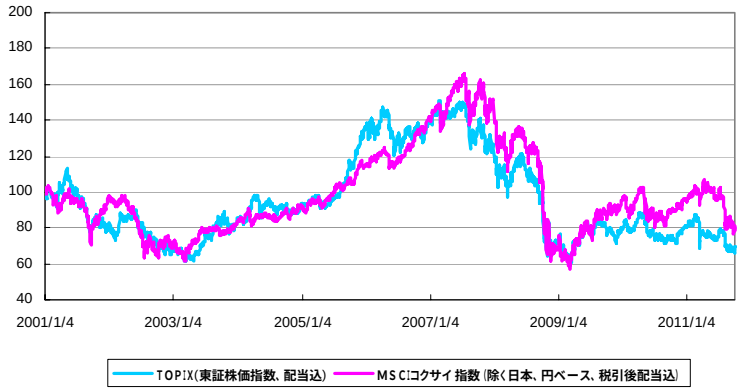
【外国債券市場】

米国債券市場は、8月の米雇用統計が予想を下回ったことなどから米国景気の減速懸念が強まったことや、FOMCによる長期債の保有比率を高めるツイスト・オペ実施示唆などを受けて金利は低下し、米10年国債利回りは、月末は1．915％となりました（前月末は2．223％）。
欧州債券市場は、欧州債務問題の深刻化を受けて金利は低下し、独10年国債利回りは、月末には1．887％となりました（前月末は2．219％）。
FRBは、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0．0～0．25％を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置き、年1．50％を維持しました。

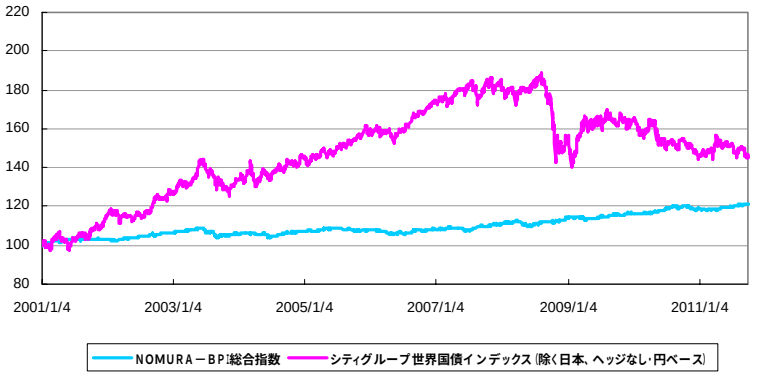
【外国為替市場】

米ドル／円相場は、スイス中銀が通貨高抑制のため無制限の外貨購入を発表したことや政府・日銀による介入への警戒感などから、中旬にかけて円安ドル高になりました。しかしその後、欧州債務問題や米国景気の減速懸念などを背景としたリスク回避の円買い圧力などから、円高となり、76円台での推移となりました。円は対ドルで前月末比0円09銭（＋0．12％）円高ドル安の1ドル＝76円65銭となりました。
ユーロ／円相場は、株価の下落や欧州債務問題の深刻化などを受けてリスク回避の動きが強まり、月を通して円高が進行しました。円は対ユーロで前月末比6円60銭（＋5．96％）円高ユーロ安の1ユーロ＝104円11銭となりました。

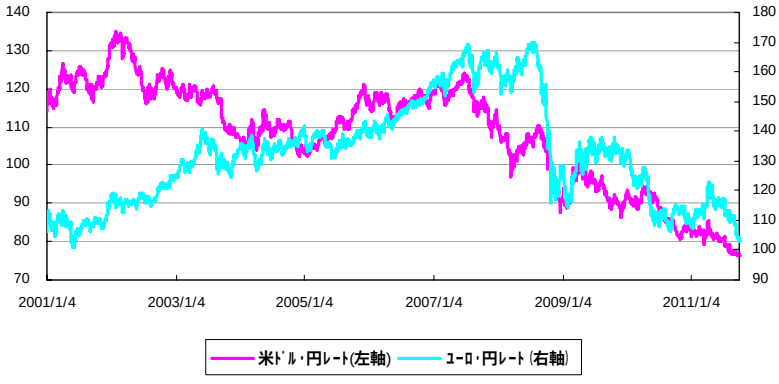
日本と外国の株式市場の推移
*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移
*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2011年9月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 ［ 2011年9月 末日現在 ］

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

	2011年9月末	2011年8月末	2011年7月末	2011年6月末	2011年5月末	2011年4月末
INDEX	0.821	0.828	0.868	0.871	0.873	0.881
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率（%）	▲ 0.85	▲ 5.81	▲ 6.71	▲ 2.61	▲ 3.59	▲ 17.92

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目		金額（千円）	比率（%）
現預金・その他		360,416	1.1
その他有価証券		31,498,247	98.9
	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）	3,188,872	10.0
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）	4,771,681	15.0
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）	4,735,333	14.9
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）	3,177,550	10.0
	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）	15,624,810	49.0
合計		31,858,664	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。
資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。（株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。）
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

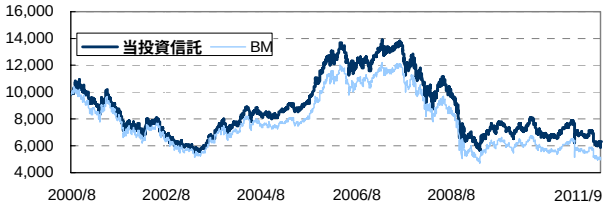
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2011年9月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）の運用状況　［ 2011年9月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.30%	▲10.20%	▲12.11%	▲6.66%	▲25.96%	▲37.34%
BM	▲1.22%	▲10.37%	▲12.45%	▲8.24%	▲30.00%	▲48.66%
差	0.92%	0.16%	0.34%	1.58%	4.04%	11.32%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）[*1]です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	10.89%
2	輸送用機器	10.17%
3	銀行業	8.36%
4	卸売業	7.10%
5	情報・通信業	6.38%
6	化学	5.45%
7	小売業	5.07%
8	食料品	4.97%
9	その他業種	40.33%
10	現金等	1.27%
合計		100.00%

○　市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	94.80%
2	大阪証券取引所第一部	3.94%
3	現金等	1.27%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.33%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.35%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.23%
4	キヤノン	電気機器	1.95%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.82%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.77%
7	武田薬品工業	医薬品	1.58%
8	三菱商事	卸売業	1.44%
9	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.33%
10	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.27%
合計			19.08%
組入銘柄数			305銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0．30%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の騰落率は、前月末比▲1．22%となりました。当月の日本株式市場は純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した飲料・タバコおよび自動車を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した石油販売および総合商社を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落したショーワ（7274）および三愛石油（8097）を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した大阪製鐵（5449）およびオークワ（8217）を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

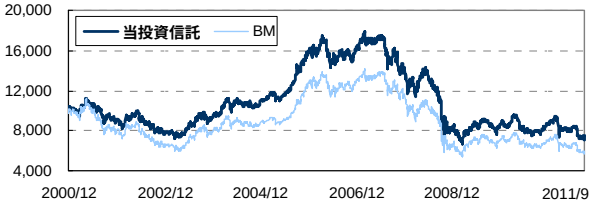
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート(2011年9月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)(適格機関投資家私募)の運用状況　[2011年9月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)　(適格機関投資家私募)
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.08%	▲10.12%	▲11.46%	▲6.06%	▲30.17%	▲25.75%
BM	▲1.22%	▲10.37%	▲12.45%	▲8.24%	▲30.00%	▲40.96%
差	1.30%	0.25%	0.99%	2.18%	▲0.17%	15.21%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)[*1]です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	11.04%
2	陸運業	9.69%
3	輸送用機器	8.17%
4	情報・通信業	7.57%
5	銀行業	7.55%
6	小売業	7.05%
7	卸売業	7.03%
8	化学	6.73%
9	その他業種	33.66%
10	現金等	1.51%
合計		100.00%

○ 市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	97.36%
2	大阪証券取引所第一部	0.87%
3	東京証券取引所第二部	0.19%
4	大阪証券取引所第二部	0.04%
5	名古屋証券取引所第一部	0.01%
6	ジャスダック証券取引所	0.01%
7	名古屋証券取引所第二部	0.01%
8	現金等	1.51%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	本田技研工業	輸送用機器	3.66%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.41%
3	日本電信電話	情報・通信業	3.39%
4	パナソニック	電気機器	2.79%
5	日本たばこ産業	食料品	2.52%
6	KDDI	情報・通信業	2.48%
7	東海旅客鉄道	陸運業	2.46%
8	住友商事	卸売業	2.22%
9	野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	2.19%
10	三菱商事	卸売業	2.08%
合計			27.20%
組入銘柄数			159銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋0.08%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比▲1.22%となりました。当月の日本株式市場は純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した電気機器を少なめに保有していたことや下落した石油販売を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した飲料・タバコおよび輸出を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落した野村ホールディングス(8604)およびJFEホールディングス(5411)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した日本たばこ産業(2914)および日本電信電話(9432)を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

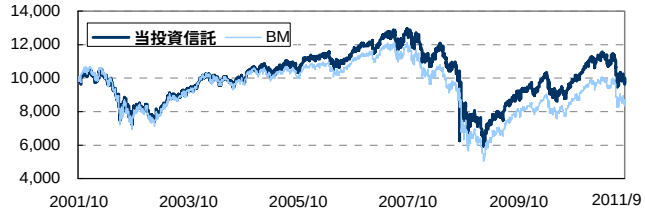
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先:　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2011年9月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）の運用状況　［ 2011年9月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）　（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲4.57%	▲11.35%	▲12.74%	2.61%	5.47%	▲1.55%
BM	▲4.35%	▲11.32%	▲12.74%	1.08%	3.17%	▲14.33%
差	▲0.21%	▲0.03%	0.01%	1.53%	2.30%	12.78%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S＆P500種株価指数*2
　（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	エネルギー	10.91%
2	医薬品バイオテクノ・ライフ	8.37%
3	ソフトウェア・サービス	8.30%
4	資本財	7.67%
5	テクノロジー・ハードウェア	7.25%
6	各種金融	6.33%
7	ヘルスケア機器・サービス	6.33%
8	食品・飲料・タバコ	5.95%
9	その他業種	35.83%
10	現金等	3.06%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	4.32%
2	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	3.04%
3	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	2.75%
4	PFIZER INC	アメリカ	医薬品バイオテクノ・ライフ	2.16%
5	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.05%
6	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品バイオテクノ・ライフ	1.94%
7	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	1.85%
8	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.81%
9	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.73%
10	ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.69%
合計				23.36%
組入銘柄数				226銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲4．57%となりました。一方、ベンチマークであるS＆P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は、前月末比▲4．35%となりました。当月の米国株式市場は市場連動性が高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した化学および石油販売を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落した石油サービスおよび石油を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落した素材のCLIFFS NATURAL RESOURCESおよびCF INDUSTRIES HOLDINGSを多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した資本財のGOODRICH CORPおよび半導体のINTELを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

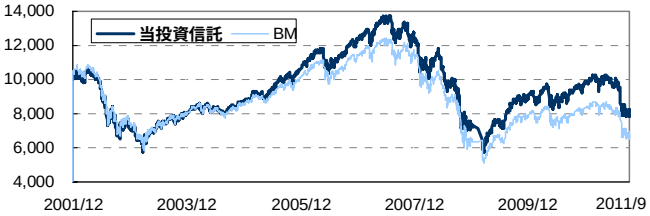
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2011年9月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2011年9月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）（適格機関投資家私募）
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.67%	▲16.23%	▲17.87%	▲11.78%	▲4.66%	▲17.95%
BM	▲0.85%	▲15.70%	▲18.81%	▲13.58%	▲12.34%	▲31.12%
差	0.19%	▲0.53%	0.94%	1.79%	7.68%	13.17%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数*3
　　（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	イギリス	27.52%
2	フランス	13.78%
3	スイス	12.56%
4	ドイツ	11.04%
5	オランダ	7.18%
6	スウェーデン	4.75%
7	スペイン	4.28%
8	イタリア	2.76%
9	その他の国	8.16%
10	現金等	7.97%
合計		100.00%

○　セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	エネルギー	11.61%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.70%
3	素材	9.57%
4	食品・飲料・タバコ	9.15%
5	銀行	8.81%
6	資本財	7.20%
7	電気通信サービス	6.22%
8	保険	5.74%
9	その他業種	23.03%
10	現金等	7.97%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.75%
2	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.42%
3	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.26%
4	TOTAL SA	フランス	エネルギー	2.10%
5	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	オランダ	エネルギー	2.03%
6	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.96%
7	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.78%
8	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	1.71%
9	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.70%
10	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.57%
合計				20.30%
組入銘柄数				266銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0．67%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は前月末比▲0．85%となりました。当月の欧州株式市場は市場連動性が高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、上昇した石油メジャーおよび保険を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した金属および自動車を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落した素材のRIO TINTO（イギリス）および自動車のVOLKSWAGEN（ドイツ）を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した医薬品のNOVARTIS（スイス）および医薬品のASTRAZENECA（イギリス）を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

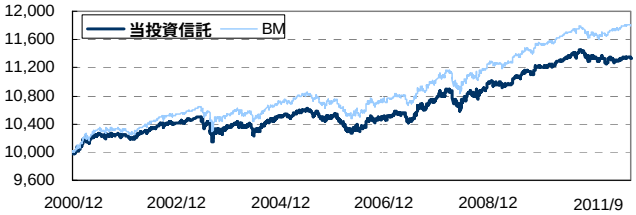
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2011年9月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2011年9月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

［投資信託名］　アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉
［委託会社］　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
［運用方針］
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.08%	0.29%	0.13%	▲0.88%	4.73%	13.29%
BM	▲0.05%	0.45%	0.95%	0.24%	6.44%	17.94%
差	▲0.03%	▲0.16%	▲0.81%	▲1.13%	▲1.71%	▲4.65%

※　設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※　投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※　「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス（総合*4、中期3年以上7年未満）です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.24 年	98.60%
国債	4.40 年	67.79%
地方債	0.00 年	0.00%
特殊債・財投債	3.64 年	6.74%
金融債	3.11 年	1.09%
社債等	4.01 年	22.98%
その他	0.00 年	0.00%
短期資産等*	0.00 年	1.40%
合計	4.18 年	100.00%

＊　債券先物を含みます。

※　「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○　公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	1.14%
AA	88.67%
A	10.20%
BBB	0.00%
BB以下（無格付含）	0.00%
合計	100.00%

格付基準：
※　海外格付機関の格付を優先します。
※　海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

○　組入上位10銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付 ムーディーズ	格付 S&P	マザーファンド
1	第277回利付国債（10年）	日本	1.600%	2016年3月20日	Aa3	AA-	7.94%
2	第259回利付国債（10年）	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa3	AA-	6.65%
3	第257回利付国債（10年）	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa3	AA-	6.33%
4	第269回利付国債（10年）	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa3	AA-	5.29%
5	第93回利付国債（5年）	日本	0.500%	2015年12月20日	Aa3	AA-	4.33%
6	第272回利付国債（10年）	日本	1.400%	2015年9月20日	Aa3	AA-	3.64%
7	第273回利付国債（10年）	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa3	AA-	3.54%
8	第288回利付国債（10年）	日本	1.700%	2017年9月20日	Aa3	AA-	3.45%
9	第312回利付国債（10年）	日本	1.200%	2020年12月20日	Aa3	AA-	3.30%
10	第4回　日本政策投資銀行	日本	1.158%	2014年6月20日	Aa3	A+	3.29%
合計							47.76%
組入銘柄数							44銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○　ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.52%
平均クーポン	1.37%
平均残存期間	4.34

※　「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0．08%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス（総合、中期3年以上7年未満）は前月末比▲0．05%となりました。9月の日本経済指標は大震災後の回復に低下がみえ始めました。8月の鉱工業生産は前月比0．8%と5ヶ月連続の上昇となりましたが市場予想の1．5%を大きく下回りました。9月の製造業PMIは49.3と4月以降初めて50を下回り、7月の機械受注は前月比で予想の▲4．2%を下回る▲8．2%と2ヶ月ぶりにマイナス領域に入りました。これらは円高や世界的な需要の減少を背景に、今後更に景気減速感が強まることを示唆しています。一方、8月の貿易統計輸出総額は前年同月比2．8%と7月の▲3．4%から大幅な上昇となりました。当月の新発10年国債利回りは0．01%低下の1．02%となりました。欧州債務問題や株価低迷、円高を背景に一時は1%割れとなりましたが、米国債を追う形で月末には若干の低下に留まりました。当月の当投資信託は、第3回韓国政策金融公社円貨債券を買入し、これまでベンチマークに対して少なめとしていた5年債のポジションを積み増しました。債券市場は投資家による利益確定売りが予想されることや2011年度第三次補正予算案が可決されれば国債の増発により利回りは上昇圧力を受けることが予想される一方、委託会社は世界景気不安の煽りや更なる円高懸念からその上昇はある程度に抑えられるだろうと予想しています。今後の当投資信託については、魅力的な投資機会や利回りの上昇が見られない限り、現在のポジションを維持する方針です。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

変額保険

用語説明

＊1「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下㈱東京証券取引所）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。
㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

＊2「S＆P500種株価指数」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は
スタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S＆P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、S＆P500種株価指数（米ドルベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、
わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

＊3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc.の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。
また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、MSCI欧州株価指数（ユーロベース）に対し、
委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

＊4「日興債券パフォーマンス・インデックス（総合）」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、
金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。
同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

○変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
***特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。**

○変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。
なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-778-133
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

契約月別の運用実績の例

（一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年）

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績（%）	年複利（%）
	保険金額（万円）	変動保険金額（万円）	保険金額（万円）	変動保険金額（万円）		
平成12年　8月　1日	1,000	-552	-	-	-17.92	-1.75
平成12年　9月　1日	1,000	-559	-	-	-19.14	-1.90
平成12年　10月　1日	1,000	-541	-	-	-16.83	-1.66
平成12年　11月　1日	1,000	-526	-	-	-14.94	-1.47
平成12年　12月　1日	1,000	-509	-	-	-12.77	-1.25
平成13年　1月　1日	1,000	-493	-	-	-10.85	-1.06
平成13年　2月　1日	1,000	-502	-	-	-12.48	-1.24
平成13年　3月　1日	1,000	-474	-	-	-8.74	-0.86
平成13年　4月　1日	1,000	-458	-	-	-6.69	-0.66
平成13年　5月　1日	1,000	-476	-	-	-9.66	-0.97
平成13年　6月　1日	1,000	-470	-	-	-9.11	-0.92
平成13年　7月　1日	1,000	-459	-	-	-7.84	-0.79
平成13年　8月　1日	1,000	-437	-	-	-5.13	-0.52
平成13年　9月　1日	1,000	-406	-	-	-1.06	-0.11
平成13年　10月　1日	1,000	-368	1,000	-316	4.01	0.39
平成13年　11月　1日	1,000	-381	1,000	-328	1.87	0.19
平成13年　12月　1日	1,000	-385	1,000	-331	0.93	0.09
平成14年　1月　1日	1,000	-384	1,000	-331	0.62	0.06
平成14年　2月　1日	1,000	-362	1,000	-310	3.36	0.34
平成14年　3月　1日	1,000	-368	1,000	-315	2.21	0.23
平成14年　4月　1日	1,000	-378	1,000	-325	0.35	0.04
平成14年　5月　1日	1,000	-372	1,000	-320	0.79	0.08
平成14年　6月　1日	1,000	-374	1,000	-321	0.21	0.02
平成14年　7月　1日	1,000	-344	1,000	-292	4.09	0.43
平成14年　8月　1日	1,000	-316	1,000	-264	7.70	0.81
平成14年　9月　1日	1,000	-313	1,000	-261	7.70	0.82
平成14年　10月　1日	1,000	-289	1,000	-237	10.76	1.14
平成14年　11月　1日	1,000	-287			10.75	1.15
平成14年　12月　1日	1,000	-297			8.83	0.96
平成15年　1月　1日	1,000	-275			11.68	1.27
平成15年　2月　1日	1,000	-253			14.35	1.56
平成15年　3月　1日	1,000	-247			14.80	1.62

契約日	終身型		有期型		契約月別運用実績(%)	年複利(%)
	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)	保険金額(万円)	変動保険金額(万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-244			14.94	1.65
平成15年 5月 1日	1,000	-256			12.59	1.42
平成15年 6月 1日	1,000	-267			10.66	1.22
平成15年 7月 1日	1,000	-280			8.33	0.97
平成15年 8月 1日	1,000	-287			6.96	0.83
平成15年 9月 1日	1,000	-292			5.77	0.70
平成15年 10月 1日	1,000	-293			5.30	0.65
平成15年 11月 1日	1,000	-301			3.86	0.48
平成15年 12月 1日	1,000	-297			4.03	0.51
平成16年 1月 1日	1,000	-304			2.62	0.33
平成16年 2月 1日	1,000	-312			1.16	0.15
平成16年 3月 1日	1,000	-319			-0.27	-0.04
平成16年 4月 1日	1,000	-329			-1.87	-0.25
平成16年 5月 1日	1,000	-326			-1.91	-0.26
平成16年 6月 1日	1,000	-317			-1.05	-0.14
平成16年 7月 1日	1,000	-324			-2.39	-0.33
平成16年 8月 1日	1,000	-310			-0.80	-0.11
平成16年 9月 1日	1,000	-309			-1.00	-0.14
平成16年 10月 1日	1,000	-307			-1.16	-0.17
平成16年 11月 1日	1,000	-303			-0.94	-0.14
平成16年 12月 1日	1,000	-310			-2.24	-0.33
平成17年 1月 1日	1,000	-319			-3.88	-0.58
平成17年 2月 1日	1,000	-317			-3.97	-0.61
平成17年 3月 1日	1,000	-326			-5.49	-0.85

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成23年9月末までの運用実績を示したものです。
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。

(4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。

(5) 有期型は平成14年10月31日で販売終了しています。